

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 1日

事業所名 ILIS CLUB 岸和田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	ル		活動内容やお子さまに合わせて、フロア内の配置や2階にある個室を利用しています。	1階フロアを広く活用できるようにフロア内に置く机や棚の移動や活動時のスタッフの配置等を改善しました。2階の個室を活用しながら支援を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	○			フロアが1階と2階で分かれて支援を行うことがあるため、朝礼時にスタッフ間で詳細を話し合い職員の配置に問題がないか検討しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		二階を使えない児童は一階フロアで適切な広さを保って過ごしています	2階建てのため階段があり、階段が難しいお子さまは1階で支援ができるように、その日のプログラムや部屋の使用方法を考えています。玄関先に小さな段差はありますが、フロア内は各階でバリアフリー化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃と消毒を徹底し玩具置き場や、課題ファイル置き場を児童の目線の高さに合わせています	周囲の物に気になりお子さまが療育に集中できないことがないように、必要なものだけをフロアに用意するように改善しました。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		日々の朝礼・終礼、会議時に実施、引継帳を活用しています	全てのスタッフが意見を発信できる力を持ち、改善点への気付き、改善策の提案ができるように改善します。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート内容をスタッフ間で共有し、指摘事項は改善できるよう努めています	保護者様の意見を真摯に受け止めながら取り組みます
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			保護者様からのアンケートの回収率が80%のため、事業所での取り組みにご興味を持っていただけるように保護者様との関係作りに努めます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価は行っていないですが、社内で評価を行い業務改善に努めています。	今後、必要に応じて外部評価を実施、業務の改善に繋げます
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修、外部研修に参加しています。報告書を提出し自己研鑽に励んでいます	スタッフが自己研鑽できるように書籍等の購入を毎月行いスタッフが持ち帰ることができるようにもしています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		送迎時の聞き取り、面談や電話等を活用しています	アセスメントの質を向上させ、お子さまや保護者様のニーズと今の課題やこれからの姿に繋がる計画の作成に努めます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全アイリスクラブで様式を統一しています	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに則った「発達支援」「家族支援」「地域支援」から必要な支援を選択しています	お子さまひとりひとりに合わせて、必要な支援の選択から具体的な支援内容を設定できている計画書を作成し保護者様にご理解いただける内容の提案に努めます。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日々、児童の支援内容を確認し支援しています	スタッフ全員が統一した支援ができるよう計画書の質の向上に努めます。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ間で意見を出し合って個別支援計画に沿った支援を実施しています	日々、外部情報の収集に努めよりよいプログラムの提案ができるようスタッフひとりひとりが努めます。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々、プログラムを検討しています	日々、外部情報の収集に努めよりよいプログラムの提案ができるようスタッフひとりひとりが努めます。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		保護者の意向を確認、児童発達支援計画を作成しています	保護者様からの意見を聞きながら、私たちができる療育内容と方法を提案します。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		日々の朝礼時には、その日の業務の確認をしています	朝礼での共有事項に差がでないように必要な内容を追加し朝礼時の内容の質を向上します。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		業務終了時には、在所スタッフで日々の振り返りを実施しています	終礼での共有事項に差がでないように必要な内容を追加し終礼時の内容の質を向上します。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		全利用児童の日々の様子は、業務日報に記録しています	今後の支援の検証や改善に繋げる事ができるようにしています
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的にモニタリングを実施、個別支援計画の見直しをしています	支援計画の見直しの必要性については、児童発達新管理責任者だけではなく、お子さまの療育に関わる職員全員の意見を反映できるように担当者会議を開催しています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		必要に応じて児童発達支援管理責任者が参加しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて情報交換しています	様々な関係機関との連携を深める事ができるようにします
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的ケアが必要な児童は利用していません	今後、必要があれば保護者や関係機関と連携し、適切な支援の実施に努めます
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医との連携体制は整えています	協力医療機関とも連絡体制を整えています
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在は実施できていませんが、全児童に必要であると考えています。保護者様のご協力のもと、各関係機関への働きかけを行って行きます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	保護者を通じての情報共有です	現在は実施できていませんが、全児童に必要であると考えています。保護者様のご協力のもと、各関係機関への働きかけを行って行きます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		専門機関との連携の必要性を感じていますが、現在は実施できていません。次年度からは実際に連携できるよう関係構築に努めます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		コロナ禍もあり、交流や活動はできていません。機会があれば取り入れたいと考えています
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			次年度より関係機関の協議会には積極的に参加します。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳、送迎時に保護者に伝えています	必要に応じて保護者様に時間をとっていただき電話や訪問、事業所に来所いただき共通理解に努めます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者からの相談は、丁寧に話を聞くようにしています	家族支援プログラムが十分にできるようスタッフの相談援助等の質を向上し家族支援に積極的に取り組みます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		具体的に説明しています	契約時の説明で保護者様に疑問等がないか定期的に面談時に確認いたします。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援内容に基づいて説明し、同意を得ています	療育に関わるスタッフ全員が把握し、児童発達支援管理責任者を含め保護者様にお子さまの課題とこれからの姿をわかりやすく説明できるよう情報共有と計画書の質の向上に努めます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		話を聞く姿勢には気を付けています	保護者様から、今の悩みを相談していただき日々の療育の情報共有や家庭支援の提案ができるようにスタッフ全員で知識と技術の向上に努めます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		コロナ禍であり、開催できていませんが、開催できるようになれば積極的に取り組みます
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		担当者を決め、児童や保護者に説明しています	苦情も含めて相談や申し入れ等に対しては、誠意をもって迅速かつ適切に対応します
保護者への説明責任等	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページ、ブログ、Instagram、毎月のおたよりで発信しています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			機密保持には特に注意を払っています
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードや文字カード手話、指文字、様々なゼスチャー等使います	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		現状はできてませんが機会があれば地域交流方法について検討します。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		それぞれのマニュアルは策定済。訓練も月一回以上実施しています	おたより等で保護者様に発信いたします。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回以上の訓練を実施しています	火災、地震、洪水、不審者等を想定して様々な訓練を実施しています

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		服薬については日々の朝礼時、連絡帳により確認できています	定期的な服薬、てんかん発作等は適切に対応できるように対応方法等をすぐに関覧できるよう掲示しています、
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者から医師による指示書をいただき、対応しています	アレルギーの内容と対応方法等をすぐに関覧できるよう掲示しています、
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		日々の終礼時にヒヤリハット内容を検討し、これまでの内容も閲覧できるように保管しています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		毎年一回以上、虐待防止研修を実施し、チェックリストを用いて実施しています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			現在は対象児童はおらず、研修会にて組織的に決定し保護者に説明了解の上記録に残して実施する事としています

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。